

# 進路だより



第4号

## 御卒業おめでとございます

肢体不自由教育部門高等部3年生17名はいよいよ18才の春を迎え、新しい人生のステージに一歩踏み出します。新しいステージでは、自分らしい生き方を見つけ、より充実した生活を築いてほしいと願っています。

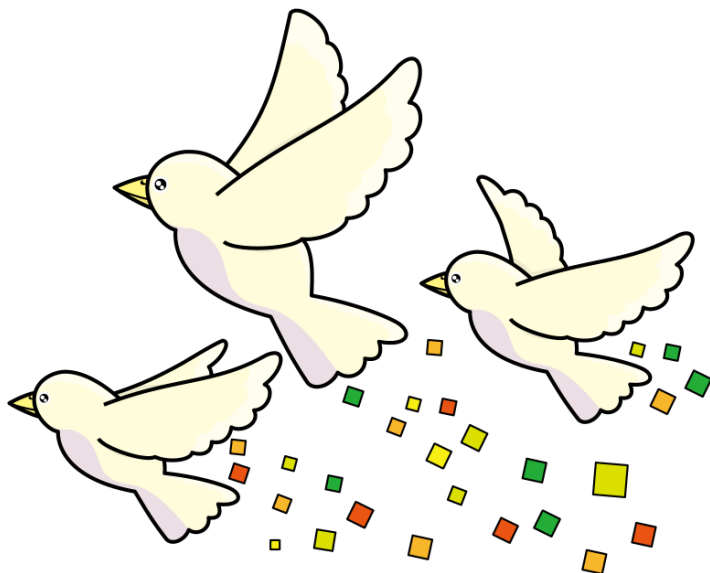
N部門中学部3年生43名は15才の春を迎え、特別支援学校高等部をはじめそれぞれの進路先へと進みます。鹿本学園で身に付けた力を存分に発揮し、自分らしさを大切にして、学校生活を謳歌してほしいと願っています。

### 知的障害教育部門中学部卒業生進路

進学先	種別
都立白鷺特別支援学校	普通科
都立江東特別支援学校	普通科
県立上尾特別支援学校	普通科

今年の卒業生は43名です。

高等部進学42名、その他1名です。



令和8年度 3月19日(木)  
東京都立鹿本学園校長 堀江 浩子  
(進路指導部 山村綱哉)

### 肢体不自由教育部門高等部卒業生進路

高等部3年生の進路が決定いたしました。

事業の種類	件数
生活介護(江戸川区:区立)	4名
生活介護(江戸川区:民間)	3名
生活介護(他県:民間)	1名
就労継続支援B型(江戸川区:民間)	1名
就労移行支援(江戸川区:民間)	1名
就労移行支援(江戸川区:区立)	1名
生活介護(葛飾区)	4名
進学(大学)	1名
その他	1名

進路決定までの道のりを紹介します。御参考にいただければと思います。

1「高等部3年生になるまでに」

様々な進路先の見学をしました。高等部2年では現場実習を実施。遅くとも高等部2年末までには進路希望を決めておく必要があります。

2「現場実習先と学校の関係づくり」

現場実習先と学校間で、生徒についての情報共有を行いました。

3「面接・現場実習や見学の実施」

現場実習先の事前面接に生徒・保護者・担任が参加し、その後、生徒が現場実習を行いました。

4「行政と学校の連携」

江戸川区や葛飾区と学校間で生徒の実態や進路希望について話し合いを重ねました。

5「進路先決定」

(1)【江戸川区】

ア「江戸川区:区立」11月に各家庭で「障害者通所施設利用届出書」を記入し、区に提出。2月に内定通知書が各家庭に届きました。

イ「江戸川区・他県:民間」実習後、実習先と打ち合わせを行い、卒業後の通所が可能かを確認。2月に内定通知書が各家庭に届きました。

(2)【葛飾区】

12月に各家庭で「通所施設調整依頼書」を記入し、区に提出。1月末、各家庭に利用調整結果の通知が届きました。

(3)【進学(大学)】

入試(AO)を行い、合否が出ました。

進路先が決まるまでには、長い準備期間が必要です。高等部3年になってからではなく、早い時期から「卒業後の生活を考える事」が大切です。

## 肢体不自由教育部門 令和 7 年度進路講話会

1月22日(木)に高等部の準ずる教育課程の生徒を対象に本校にて実施をしました。講師として中村 康昭様に来ていただきました。中村様は本校の前身である江戸川養護学校を卒業後、様々な社会経験を経て現在葛飾区奥戸にある「りmixstudio とら (就労継続支援 B 型)」にてお仕事をされております。



講話の内容は「学生時代の話」「卒業後について」「仕事」「休日の過ごし方」など多岐にわたっていましたが、ユーモアに富んだ話が多く、会場は終始笑い声に包まれていました。つらい経験をされた時の話や、「社会に出ることは、人を喜ばせることです」などの話をされた時には、生徒達はとても共感をしていました。質疑応答ではたくさん質問が出て、和やかな雰囲気ながらも活気ある進路講話会となりました。



## 令和7年度医療的ケアがある児童・生徒保護者対象進路先勉強会

3月6日(金)に、医療的ケアが必要な児童・生徒の進路について理解を深めていただくことを目的に、「進路先勉強会」を実施いたしました。当日は、地域で医療的ケアを必要とする方々を支える三つの事業所「ファミリーユ」、「WyL 株式会社」、「しろひげ在宅診療所」の方にお越しいただきました。

勉強会では、各施設の特色や支援体制、日々の生活の様子、医療・介護・看護がどのように連携しているかなど、実際の事例を交えながら分かりやすく説明していただきました。保護者の皆様からも多くの質問がなされ、とても有意義な時間となりました。

進路選択や卒業後の生活は、御家庭にとって大切なテーマであると同時に、不安や疑問が生じやすい場面でもあります。今後も学校として、保護者の皆さまと一緒にお子さまのよりよい未来を考えていける機会を設けてまいります。

御参加いただいた皆さま、そして御協力くださった講師の皆さまに心より感謝申し上げます。

